

2021年2月12日

各位

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社

日経アニュアルレポートアワード 2020 にて優秀賞を受賞

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社(取締役執行役社長:大久保 哲夫、以下「当社」)は、この度、日本経済新聞社による「日経アニュアルレポートアワード 2020」にて、優秀賞を初受賞しましたのでお知らせします。

「日経アニュアルレポートアワード」は、日本企業の発行するアニュアルレポートの更なる充実と普及を目的に1998年から毎年実施されており、現役のファンドマネージャーやアナリストの方々が、応募企業のアニュアルレポート、統合報告書を複数の項目別に審査し、特に優れたものを表彰するものです。第23回となる2020年度は132社が参加し、その中から、グランプリ1社、準グランプリ3社、特別賞3社、優秀賞14社が選出されました。

三井住友トラスト・グループは、その持続的な成長に向けた取り組みと、ステークホルダーの皆さまへの価値提供や共通価値創造の取り組みを広くご理解頂くため、2017年度より統合報告書を作成しております。2020年度版では、当グループの存在意義(パーパス)を明確に示すとともに、「社会的価値創出と経済的価値創出の両立」を経営の根幹に据えた新たな中期経営計画における、当グループの社会課題への取り組み、ビジネスを通じた社会の発展への貢献などの記載を充実させました。今回の審査においては、社会課題解決型ビジネスによる各ステークホルダーへの直接的なインパクトと、当該ステークホルダーの更に先にいるステークホルダーへの間接的なインパクト、各々の価値最大化を企図した「価値創造プロセス」についての説明などが高く評価されました。

今後とも、ステークホルダーの皆さまに、当グループの取り組みについてご理解を深めて頂けるように更なる改善に努めてまいります。

以上

(ご参考)

三井住友トラスト・ホールディングス 2020 統合報告書ディスクロージャー誌本編

<https://www.smoth.jp/ir/disclosure/2019/all.pdf>

